

令和6年度

ひきこもり支援者向け研修

事例検討

オンライン
開催

ひきこもりの状態にあるご本人やそのご家族を支える人材を育成する研修を下記のとおり開催いたします。

対象者

都内に活動拠点があり、ひきこもりの状態にあるご本人やそのご家族を支援する団体や行政機関等の支援者の方、今後支援をする予定の方

研修内容

事例検討

日 時：令和7年1月17日（金） 午後1時30分～午後5時30分

進行・講評：文京学院大学 人間学部人間福祉学科 学科長／教授 なかしま おさむ 中島 修氏

事例発表① 東京都ひきこもりサポートネット

事例発表② 日野市 健康福祉部 セーフティネットコールセンター

内容（予定）：支援に携わった事例を各団体から発表していただきます。
事例発表後、事例検討の演習を行います。

※講義内容は変更になることがあります。

受講者数

40人程度
先着順のため、定員に達し次第締切といたします。結果は全員に通知します。

実施方法

オンライン研修（Zoomで開催します）
演習を実施するため、WEBカメラ・マイク必須です。

受講料

無料

主催

東京都 本事業は東京都から（公財）東京都福祉保健財団が受託しています。

申込方法

当財団ホームページ下記URLから本研修の申込フォームに必要事項（氏名・所属名・電話番号・メールアドレス等）をご登録ください。研修詳細は裏面をご覧ください。（URL：<https://www.fukushizaidan.jp/124hikikomori/>）

東京都福祉保健財団 ひきこもり



講師紹介

事例検討

文京学院大学 人間学部 人間福祉学科 学科長
なかしま おさむ
教授 中島 修氏

狛江市社会福祉協議会、厚生労働省社会・援護局地域福祉課地域福祉専門官、文京学院大学准教授等を経て、2020年より現職。社会福祉士。東京都ひきこもりに係る支援協議会副会長、豊島区ひきこもり支援協議会会長等多くの役職を歴任。NHK社会福祉セミナー講師を務めるほか、地域福祉・ひきこもりに関する講演会、研修会に多数登壇している。専門分野は地域福祉、コミュニティソーシャルワーク、福祉教育、権利擁護、災害支援、生活困窮者支援。

受講者の声（令和5年度アンケートより）

- オンライン開催のお陰で参加が叶いました。実際に起きている事例を聞きグループで検討出来た事で、様々な支援団体の方々の視点やご意見もうかがえました。今後の自身へのヒントをいただき、引き出しが増えた事にも感謝しています。
- 事例を交え、自ら考え、違う職種の方と意見交換ができたのは、貴重な機会であった。また、違う年代の方との交流もすごく刺激を受けました。

申込にあたっての注意事項

- ①受講にあたっては、Zoomの視聴環境の確保が必要です。詳細は当財団ホームページをご覧ください。受講料は無料ですが、視聴環境確保のための経費（受講端末・インターネット通信料等）はご負担ください。本研修ではビデオをオンにして受講していただきます。受講者の画像・氏名が共有されることを了承の上、お申し込みください。
- ②申込には、受講者ごとに個別のメールアドレスをご登録ください。メールアドレスで個人の識別を行います。同一の申込フォームに同一のメールアドレスで複数の申込があった場合、情報が上書きされ、正常な受付ができませんのでご注意ください。申込から1週間が経過しても受講決定メールが届かない場合は、恐れ入りますが事務局へご連絡ください。
- ③申込時にご登録いただいた個人情報については、当財団個人情報の保護に関する要綱に基づき適正管理を行い、当該研修業務以外の目的で利用することはありません。
- ④本研修は演習を主体とするため、オンデマンド受講（録画視聴による受講）はございません。

問合せ先



公益財団法人東京都福祉保健財団

人材養成部福祉人材養成室 ひきこもり支援研修担当

〒163-0719 東京都新宿区西新宿2-7-1 新宿第一生命ビルディング19階
Tel 03-6302-0319 e-mail: hikikomori@fukushizaidan.jp
URL: <https://www.fukushizaidan.jp/124hikikomori/>

東京都福祉保健財団
ひきこもり